

苫前町における  
平成26年度全国学力・学習状況調査の結果

平成27年 2月

苫前町教育委員会



平成26年8月、北海道教育委員会から、北海道の公立学校における調査結果の概要として、「平成26年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」が公表された。

苫前町教育委員会では、この調査結果を受けて苫前町の学力・学習状況を把握し、各学校における指導の工夫改善に生かすために、調査結果の概要をまとめたものである。

## ◆ 平成26年度全国学力・学習状況調査の概要

### 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査の対象

#### ア 小学校調査

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

#### イ 中学校調査

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

### 3 調査の内容

#### 1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題 [国語 A、算数・数学 A]
- ・主として「活用」に関する問題 [国語 B、算数・数学 B]

#### 2) 質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

### 4 調査の方式

悉皆調査

### 5 調査期日

平成26年4月22日（火）

### 6 調査実施した学校・児童生徒数

【調査】 全国

区分	対象学校	学校数（実施率）	児童生徒数
小学校	20,510	20,352（99.2%）	1,093,806
中学校	10,649	10,173（95.5%）	1,060,010
合計	31,159	30,525（97.4%）	2,153,816

調査には私立学校を含む。

## ■ 苫前町の全国学力調査結果の概要

### 1 児童生徒の学力状況の概要

#### 【 小学校 】

区 分	国語A知識 正答率(%)	国語B活用 正答率(%)	算数A知識 正答率(%)	算数B活用 正答率(%)
全 国	73.1	55.6	78.2	58.4
北海道	71.8	52.9	75.8	55.2
苫前町	71.3	52.2	74.9	59.2

#### (1) 国語A 主として「知識」に関する問題

- \* 全道平均を0.5ポイント下回っている。
- 正答率が高いものは、設問1一「漢字を正しく読む」(85%)である。
- 特に課題が見られるものは、設問3「情景描写の効果を捉える」(34.8%)で、全道と比べ21ポイントも下回っている。
- \* 今後は、物語を創作する際、描写の工夫(行動や表情、会話、風景など)の効果を理解することができるように指導を続けていく必要がある。

#### (2) 国語B 主として「活用」に関する問題

- \* 全道平均を0.7ポイント下回っている。
- 正答率が比較的高いものは、設問3一(1)「詩の表現の特徴として適切なものを選択する」(73.9%)である。
- 課題が見られるものは、設問1三「討論会において、立場を明確にして質問や意見を述べる」(26.1%)や、設問2二「立場や意図をはっきりさせながら意見を書く」(17.4%)などである。
- 今後は、立場や根拠を明確にして話し合う場面において、発言する際に根拠を明確にした上で発言するように指導していく必要がある。また、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係づけながらまとめて書く能力を高める必要がある。

#### (3) 算数A主として「知識」に関する問題

- \* 全道平均を0.9ポイント下回っている。
- 特に正答率が高いものは、設問1(1)「繰り上がりのある加法の計算をする」(95.7%)や、設問1(4)「商が小数になる除法の計算をする」(100%)の問題である。
- 課題が見られるものは、設問4(2)「単位量当たりの大きさの求め方を理解している」(34.8%)で、全道と比べ23ポイントも下回っている。また、設問6「作図に用いられている図形の約束や性質を理解している」(34.8%)である。
- 今後は、単位量当たりの大きさを用いて異種の二つの割合を表すためには、問題場面に応じて二つの量のどちらを単位量とするかについての的確に判断して立式できるように指導していく必要がある。また、作図の指導においては、単に作図の手順を形式的に指導する

だけでなく、その作図が図形のどのような約束や性質を使っているのかを考え、それを基に作図できるようにしていく必要がある。

#### (4) 算数B主として「活用」に関する問題

- \* 全道平均を4ポイント上回っている。
- 特に正答率が高いものは、設問1(1)「示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をする」(91.3%)である。
- 課題が見られるものは、設問5(2)「示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択する」(30.4%)や、設問5(3)「示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる」(30.4%)である。
- 今後は、基準量と比較量を捉え、数量の関係(基準量、比較量、割合)を図に表したり、図から読み取ったりすることができるように指導する必要がある。また、問題解決に用いる情報を書き出し、それらを組み合わせることで解決の筋道を明確にした上で、求め方を言葉や式を使って説明できるようにすることが大切である。

### 【中学校】

区分	国語A知識 正答率(%)	国語B活用 正答率(%)	数学A知識 正答率(%)	数学B活用 正答率(%)
全国	79.4	53.6	67.4	59.8
北海道	79.4	49.9	66.0	59.4
苫前町	84.4	51.0	67.5	61.2

#### (1) 国語A 主として「知識」に関する問題

- \* 全道平均を、5.0ポイント上回っている。
- 特に正答率が高いものは、設問8三イ「適切な語句を選択する」100%。設問1二「報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する」96.4%。設問2一「主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する」96.4%。設問4一「ウェブページの項目として適切なものを選択する」96.4%。設問7一「文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する」96.4%。設問8二2「漢字を読む(このホールは音響効果が良い)」96.4%。設問8三キ「適切な語句を選択する」96.4%。である。
- 課題が見られるものは、特に(正答率50.0%以下の問題は)無かった。

#### (2) 国語B主として「活用」に関する問題

- \* 全道平均より、1.1ポイント上回っている。
- 正答率が高いものは、設問1一「標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する」82.1%。である。
- 課題が見られるものは、設問2一「本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する」28.6%。設問2三「水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く」39.3%。設問3三「落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く」42.9%。である。

- 今後は、①目的や意図に応じて必要な情報を収集する際には、説明的な文章の特徴を踏まえて本や文章の内容を捉えること、②複数の資料を読み、多面的に情報を得ること、③文学的な文章を読む際には、登場人物の心情や作者の思いなどを想像させること等が大切である。

### (3) 数学A主として「知識」に関する問題

- \* 全道平均より、1.5ポイント上回っている。
- 特に正答率が高いものは、設問2(4)「男子  $m$  人と女子  $n$  人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、 $m$  と  $n$  を用いて表した式を選ぶ」100%。設問4(1)「線対称な図形を完成する」100%。設問2(2)「 $10xy \div 5x$  を計算する」96.4%。などである。
- 課題が見られるものは、設問13(2)「ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ」25.0%。設問5(4)「円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ」28.6%。設問13(1)「生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める」32.1%。などの問題である。
- 今後は、①代表値の必要性和意味については、目的に応じてデータを収集して整理、資料の値について考慮し、資料の傾向を読み取ること、②柱体と錐体の体積の関係を、実感を伴って理解できるようにするには、柱体の体積と錐体の体積を予想し、模型を用いた実験による測定を行って確かめること、③相対度数の必要性和意味については、ある階級の度数の総度数に対する割合を求めて、資料の傾向を読み取らせる活動を取り入れること等が考えられる。

### (4) 数学B主として「活用」に関する問題

- \* 全道平均より、1.8ポイント上回っている。
- 正答率の高いものは、設問1(2)「外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ」100.0%。設問3(1)「与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かかったことを表す点を求める」96.4%。設問5(1)「スティックゲームの遊び方を基に、1本表、3本裏のときの得点を求める」85.7%。などである。
- 課題が見られるものは、設問4(2)「 $\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める」21.4%。設問2(3)「2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する」28.6%。設問6(3)「兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求めそのグラフから兄の速さを求める方法を説明する」28.6%。である。
- 今後は、①証明の過程や結論を基に、発展的に考えるには、与えられた性質を証明するだけでなく、条件を変えたりして、新たな性質を見いだす活動を取り入れること、②事柄が成り立つかどうかを調べて判断するには、与えられた事柄や予想した事柄について、条件に当てはまる具体例をあげ、それが結論を満たすかどうかを調べる活動を取り入れること、③問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにするためには、問題解決の方法に焦点を当て、何をどのように用いればよいかを明らかにできるようにすること等が考えられる。

## 2 児童生徒の学習状況の概要

### 〔学習状況調査結果の傾向〕

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっている。

本調査において、「している」「どちらとえばしている」と肯定的に解答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向として分類した。

#### ◆ 苫前町の児童生徒が高い傾向（80%以上）を示した質問事項

##### ○ 小学校・中学校共通

- \* 朝食を毎日食べている。
- \* 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- \* ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- \* 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- \* 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。
- \* 家で学校の宿題をしている。
- \* 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- \* 学校のきまりを守っている。
- \* 友達との約束を守っている。
- \* 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- \* いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- \* 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- \* 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う。
- \* 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
- \* 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- \* 調査問題の解答時間は十分だった。（国語A）
- \* 算数の勉強は大切だと思う。
- \* 調査問題の解答時間は十分だった。（算数A・数学A）

##### ○ 小学校のみ

- \* 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- \* 将来の夢や目標を持っている。
- \* 家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。
- \* 今住んでいる地域の行事に参加している。
- \* テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
- \* 5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思う。
- \* 5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。
- \* 5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。

- \* 5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
- \* 国語の勉強は大切だと思う。
- \* 国語の授業の内容はよく分かる。
- \* 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。

○ 中学校のみ

- \* 家で、学校の授業の復習をしている。
- \* 国語の勉強は好きだ。
- \* 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した。
- \* 数学ができるようになりたいと思う。

◆ 苫前町の児童生徒が低い傾向（60%未満）を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

- \* 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である。
- \* 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。
- \* 新聞を読んでいる。
- \* 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- \* 学校の授業などで、自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。
- \* 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- \* 算数・数学の勉強は好きだ。

○ 小学校のみ

- \* 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
- \* 国語の勉強は好きである。
- \* 調査問題の解答時間は十分だった。（国語B）

○ 中学校のみ

- \* 自分には、よいところがあると思う。
- \* 将来の夢や目標を持っている。
- \* 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- \* 家で、学校の授業の予習をしている。
- \* 1・2年生のときに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思う。
- \* 1・2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
- \* 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。
- \* 数学の授業の内容はよく分かる。



- \* 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えている。
- \* 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。
- \* 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した。

#### ◆苦前町の児童生徒が全道より5ポイント以上高い傾向を示した質問事項

##### ○ 小学校・中学校共通

- \* 家で学校の授業の復習をしている。
- \* 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- \* 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う。
- \* 前学年までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思う。
- \* 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
- \* 前学年までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。
- \* 前学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。
- \* 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている。
- \* 前学年までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。

##### ○ 小学校のみ

- \* 家で学校の授業の予習をしている。
- \* 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- \* 今住んでいる地域の行事に参加している。
- \* 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。
- \* テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
- \* 調査問題の解答時間は十分だった。（国語B）

##### ○ 中学校のみ

- \* 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- \* 家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。
- \* 家で、学校の宿題をしている。
- \* 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
- \* 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- \* 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- \* 国語の勉強は好きだ。
- \* 国語の勉強は大切だと思う。
- \* 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- \* 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した。

- \* 調査問題の解答時間は十分だった。(国語A)。
- \* 数学の勉強は大切だと思う。
- \* 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている。
- \* 調査問題の解答時間は十分だった。(数学A)

◆苦前町の児童生徒が全道より20ポイント以上低い傾向を示した質問事項

○ 小学校・中学校共通

なし

○ 小学校のみ

- \* 学校の授業などで、自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。

○ 中学校のみ

なし

〔 児童生徒質問紙から読み取れる傾向 〕

質問内容		児 童		生徒	
		本町	全道	本町	全道
月～金曜日、1日あたり 「テレビやビデオ・DVD」を 見たり聞いたりする時間	2時間以上	65%	64%	43%	41%
	4時間以上	22%	22%	18%	17%
月～金曜日、1日あたり 「テレビゲーム」をする時間	1時間以上	70%	63%	50%	48%
	4時間以上	17%	13%	14%	14%
月～金曜日、1日あたり 「インターネット」をする 時間	1時間以上	26%	19%	14%	13%
	4時間以上	9%	4%	36%	37%
携帯電話やスマートフォンを持っている		52%	52%	71%	85%
月～金曜日、1日あたり 学校以外での学習時間（1時間以上）		57%	51%	54%	61%
休日1日あたりの学習時間（1時間以上）		70%	51%	64%	63%
学習塾（家庭教師含む）で勉強している		22%	40%	7%	50%
月～金曜日、1日あたり 読書をする時間	30分以上	39%	37%	18%	26%
	2時間以上	0%	8%	4%	8%
昼休みや放課後、休日に、本を読んだり、借 りたりするために、学校図書館や地域の図書 館へ月1回以上行く		48%	38%	14%	17%
学校生活の悩みは誰かに相談する		78%	81%	64%	74%
授業中の疑問は誰かに尋ねたり、調べたりす る		100%	95%	82%	84%

## 〔 質問紙調査の結果 〕

### <学習に対する関心・意欲・態度>

- 「国語の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高い結果であった。
- 「算数・数学の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に低い結果であった。
  
- 家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共ほぼ同じであった。
- 学校の宿題をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高い結果であった。
- 家で学校の授業の復習をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に高い結果であった。
- 家で学校の授業の予習をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生では低い結果であった。

### <基本的な生活習慣>

- 朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共ほぼ同じであった。
- 毎日同じくらいの時刻に寝ている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共ほぼ同じであった。
- 毎日同じくらいの時刻に起きている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では高い結果であった。

### <家庭でのコミュニケーション>

- 家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。

### <地域との関わり>

- 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合は、全道と比べ小学生・中学生共に非常に高い結果であった。

### <社会に対する興味・関心>

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では低かったが、中学生では高い結果であった。
- 地域や社会をよくするために何をなすべきか考えることがある児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生ではほぼ同じであった。
- 新聞を読んでいる児童生徒の割合は、全道と比べ小学生ではほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生ではほぼ同じであった。